校訓　自主自律
学ぶ意欲
思いやる心
行動する力
学校教育目標
気づき　考え　実行する
心豊かな生徒

大地のけやき

第１２号　平成３０年９月１０日　川越市立寺尾中学校長　福田和子

各種学力調査　～平成30年4月実施～

４月に実施した各種学力調査の結果概要をお知らせします。県学力・学習状況調査では、生徒一人一人の学力の伸びを図り、生徒の学習意欲、学力を伸ばすことを目的としています。学力レベルを１２に分割し、さらに１つのレベルを３分割（A，B，C）で表しています。学力の伸びは、学力のレベルを「数値」に変換し、その学年の前年度との差で表しています。教科に関する調査は、下記の通りです。学校全体としては概ね県や市の平均レベルと言えます。

埼玉県学力･学習状況調査の結果は、家庭訪問、三者相談の際にお渡ししました。ご家庭では、子どもが努力している部分を励ますことで本人が自信をもち、学習意欲が高まるよう、今後も継続して声を掛けてください。

【埼玉県学力･学習状況調査】

【１年】

	国語		数学	
	正答率	レベル	正答率	レベル
寺尾中	56.6	8-C	58.5	7-B
川越市	55.7	8-C	59.1	7-B
埼玉県	55.2	8-C	58.1	7-B

【２年】

	国語			数学			英語	
	正答率	レベル	伸び	正答率	レベル	伸び	正答率	レベル
寺尾中	53.5	8-C	1	50.8	7-A	3	60.2	8-B
川越市	55.6	8-B	1	52.3	8-C	2	65.5	8-A
埼玉県	55.6	8-B	1	51	7-A	1	65.4	8-A

【３年】

	国語			数学			英語		
	正答率	レベル	伸び	正答率	レベル	伸び	正答率	レベル	伸び
寺尾中	62.3	8-A	0	63.7	9-C	4	56.8	10-C	5
川越市	62.1	8-A	1	59.9	8-A	2	59.3	10-B	5
埼玉県	61.7	8-A	1	59.1	8-A	2	58.5	10-C	4

全国学力･学習状況調査【3年】

平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
寺尾中	75.0	61.0	65.0	49.0	65.0
川越市	75.0	61.0	64.0	46.0	65.0
埼玉県	75.0	61.0	65.0	47.0	65.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

寺　尾　中　生　徒　の　活　躍　～夏季休業中の取り組みの成果～

＊＊部活動での取り組みの成果や個人で研究、制作した努力の結果です。＊＊

第５９回埼玉県吹奏楽コンクール地区大会中学校Ｂの部　銅賞　　寺尾中学校吹奏楽部
Ｈ３０川越市中学生夏季研修大会ソフトテニス男子の部　第３位　１組
Ｈ３０川越市児童生徒発明創意工夫展
　　優秀賞　２名
　　優良賞　９名

避難訓練の実施・緊急地震速報を利用　～給食配膳準備中の地震発生～

９月３日（月）二学期始業式のあと、今年度２回目の避難訓練を実施しました。今回は、給食の配膳準備の時間帯に地震が発生したことを想定し、学級単位でなく、給食当番等の役割分担ごとに避難しました。

地震が発生した場合、すみやかに安全な姿勢をとるように指導していますが、廊下等の周囲に体を隠すものがない場合は、「ダンゴムシの姿勢」をとり、両手で頭を守ることが必要です。

おかしもち・・・
おすな　　かけるな
しゃべるな　もどるな
ちかづくな
あおあし・・・・
頭を守って
落ち着いて
安全な場所で
しゃがみこむ

《避難訓練での校長の話より》

災害というものは、いつ・どこで起こるかわからない。まさかこのようなところでは起きないだろう、自分は大丈夫、安全に避難できるという甘えが大きな事故につながるのです。避難訓練では、日ごろの集団行動の成果が表れます。多人数が生活する学校という所では、集団行動というものがとても大切で、緊急時には命に関わります。一人一人の心構えとして、「自分一人くらい、まあーいいか」とか「これくらい、まあーいいか」といった自分勝手な考え方や行動は、だめだということです。避難訓練の時だけでなく、体育や朝会、全校・学年集会などで、集団行動をさらに意識してください。

緊急時の心得

心得１：身の安全を守ること。つまり。机やベッドなどのしっかりした空間の中に身を置くことです。天井が落ちてきたときに、少しの空間で一命を取り留めたという例もあります。

心得２：脱出口を確保すること。地震でドアや戸が開かなくなることもあるので、まず戸を開けて逃げ道を確保することです。

心得３：火の始末をすること。ガスやストーブの火を消します。可能ならガスの元栓まで締めることが望ましいです。

心得４：安全に気を付けて外へ出ること。この時、隣、近所で声を掛け合い、みんなの安全を確認することです。すべての場所には消防車も救急車も行けないというのが、地震というものです。みんなで助け合って共に生き延びなければならないのです。

心得５：３日分の飲料水と食料を備蓄すること。３日間を自分でしのげたら、何とか援助物資も届き、何とかなることが多いということです。

以上が、地震に対する対応、地震についての心構えです。緊急時の家族の集合場所なども含め、今日家に帰ったら早速、家族で確認をしましょう。また、大震災の場合は電車等公共交通機関が不通や混乱で家族が帰宅できないことも予想されます。自分一人で１日、２日と避難所で過ごさなければならないことも予想されます。そういったときに「家族が帰宅できるまでにどのくらいの日数がかかるのか」などをよく相談をしておきましょう。必ず、迎えに来てくれますから。

最後に、自らの身を守り、できれば身近な人を手助けすることができるよう、日頃から安全に対する知識、災害に対する心構え、対応を身に付けてください。地域で「守られるべき中学生」から「年少者や高齢者を守れる寺尾中生」になってくれるようお願いします。

体育祭応援練習が始まっています。

先週から１４日の体育祭に向けて応援練習が始まっています。各団とも練習に熱が入っています。応援団長、応援団を中心に夏休みの期間を利用して準備を進めていた内容を団員全員に伝達し、練習に励んでいます。